

# 医療行動科学 5 : 603-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	*多田 充裕 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：1 単位</p> <p>医療は、単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在として、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。また、治療の対象は慢性疾患や生活習慣病の治療と予防が主となり、患者のライフサイクルに応じたセルフケア重視へと移行しつつある。</p> <p>医療は患者と医療者が協働する時代といわれ、“patient-centered medicine”の医師中心、患者中心を越えた第3の枠組みとして“relationship-centered care”という概念が提示された。“relationship-centered care”とは、様々な「関係」を中心にヘルスケアを構築するという考え方で、「関係」に関わる人の個性を取り入れること、感情が重要な要素となること、相互作用の中で「関係」が生じていくこと、「関係」の形成と維持が倫理的に重要であること、という4つの原則が示されている。(宮田靖志/北海道大学病院)</p> <p>本講義を通して、患者-医療者関係についてより深く考え、自らの行動指針を整理、決定する。</p>
担当教員	*多田 充裕、*内田 貴之、*金尾 好章、*蝦名 直美、*原 龍馬、大沢 聖子、*伊藤 孝訓
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「人間学入門」 日本医学教育学会 南山堂 「患者と医師のコミュニケーション」 石川ひろの、武田裕子 篠原出版新社 その他随時紹介する。
実習器材	SGD はノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること。
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価(最終評価) する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0 ~ 60 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	よりよい患者-医療者関係を構築するための基礎的事項について、少し深く基本から考えてみましょう。SGD による学習方略を用いますので積極的に学習して下さい。 E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。 歯科医師の実務経験を活かし、歯科医療に関する歴史および倫理、社会との関連について説明する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/06 (月) 1時限 09:00~10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために患者-医療者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心の医療について説明できる。 3. 患者と医療者の関係について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 a 疾病・障害の概念・構造 (社会的関わり) b QOL &lt;quality of life&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p>	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/13 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～歯科医院を中心として～	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、地域における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 3. 歯科医院におけるヘルスクエアを概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ネット上の歯科医院のHPを視聴する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み エ 地域保健、地域医療 g かかりつけ歯科医機能</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携 (地域包括ケアシステム) を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	金尾 好章
2020/04/20 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (1) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 3. 医療の不確実性について説明できる。 4. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 5. 患者の個別性や価値観について説明できる。 6. 魚骨図を用いて要因分析ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 インフォームド・コンセントの意義と重要性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・SGD パソコンを使用する、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。</p>	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/04/27 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (2) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p>	*多田 充裕 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/27 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (2) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	2. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 3. 医療の不確実性について説明できる。 4. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 5. 患者の個性や価値観について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 日本文化の特性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。パソコン使用する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料  【学修方略(LS)】 演習  【場所(教室/実習室)】 第2実習室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療(インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/05/11 (月) 1時限 09:00～10:30	病院における患者関係 ～二次医療機関～	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、病院における患者関係を理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 2次医療機関における患者・医療者の関わりについて概説できる。 3. 細分化された歯科医療の特性を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 今後の歯科医療の展開についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 c 病診連携  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携(地域包括ケアシステム)を説明できる。	*内田 貴之
2020/05/18 (月) 1時限 09:00～10:30	日本人の心理特性	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療におけるコミュニケーション心理を理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 日本人の生活と心理的特徴について説明できる。 3. 男女の生活する上での心理的違いについて説明できる。 4. 日本人のアイデンティティーについて説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 昨年の行動科学4について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/18 (月) 1時限 09:00～10:30	日本人の心理特性	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナルリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	蝦名 直美
2020/05/25 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験1・解説 講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/06/01 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者 関係 ～在宅、院 外施設を中心とし て①～	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、地域における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 3. 地域包括ケアシステム、多職種連携、介護、在宅医療等について概説できる。 4. 一般歯科医院における歯科訪問診療、在宅歯科医療について概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 在宅歯科医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 f 地域包括ケアシステム</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種の連携</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携 (地域包括ケアシステム) を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯</p>	原 龍馬 *多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/01 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～在宅、院外施設を中心として①～	科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。	原 龍馬 *多田 充裕
2020/06/08 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～在宅、院外施設を中心として②～	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために地域における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 3. 一般歯科医院における歯科訪問診療、在宅歯科医療について概説できる。 4. 地域包括ケアシステム、多職種連携、介護、在宅医療等について概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 在宅歯科医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 イ チーム医療における歯科の役割 b 在宅医療 (訪問歯科診療を含む)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 f 地域包括ケアシステム</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携 (地域包括ケアシステム) を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	*多田 充裕
2020/06/15 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (3) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 共感的・全人的な歯科医療を実践するために必要な方略に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 3. 医療の不確実性について説明できる。 4. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 5. 患者の個別性や価値観について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 全人的医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。パソコン使用する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2 患者と歯科医師の関係</p>	*多田 充裕 犬沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/15 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (3) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。	③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/06/22 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (4) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 共感的・全人的な歯科医療を実践するために必要な方略に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 3. 医療の不確実性について説明できる。 4. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 5. 患者の個別性や価値観について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 全人的医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。パソコン使用する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。</p>	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/06/29 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (5) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」および「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 我が国の文化にあったインフォームドコンセントおよび共感的・全人的な医療を実践するために、歯科医師の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 3. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 4. 専門職 (プロフェッション) とは、について説明できる。 5. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 6. テーマに対して批判的思考が実践できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 最近の患者像についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・発表討議、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	*多田 充裕 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/29 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (5) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」および「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。	A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。	*多田 充裕 犬沢 聖子
2020/07/06 (月) 1時限 09:00～10:30	患者教育の実践 (1) 「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 賢い患者に変容させる患者教育を実践するために、歯科医師の役割を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 3. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 4. 専門職 (プロフェッション) とは、について説明できる。 5. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 6. テーマに対して批判的思考が実践できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者教育の重要性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッション、パソコン使用する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料  【学修方略 (LS)】 演習  【場所 (教室/実習室)】 第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。	*多田 充裕 犬沢 聖子
2020/07/13 (月) 1時限 09:00～10:30	患者教育の実践 (2) 「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 賢い患者に変容させる患者教育を実践するために、歯科医師の役割を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 3. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 4. 専門職 (プロフェッション) とは、について説明できる。 5. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 6. テーマに対して批判的思考が実践できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の特性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッション、パソコン使用する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料使用する、  【学修方略 (LS)】 演習  【場所 (教室/実習室)】 第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオン	*多田 充裕 犬沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/13 (月) 1時限 09:00～10:30	患者教育の実践 (2) 「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	など) <b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容  <b>【コアカリキュラム】</b> A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/07/20 (月) 1時限 09:00～10:30	患者教育の実践 (3) 「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	<b>【授業の一般目標】</b> 賢い患者に変容させる患者教育を実践するために、歯科医師の役割を理解する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 3. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 4. 専門職 (プロフェッション) とは、について説明できる。 5. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 6. テーマに対して批判的思考が実践できる。  <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 上手なプレゼンの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分  <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> 有・発表討議、発表を評価する。 講義内容プリントなどの配布資料  <b>【学修方略 (LS)】</b> 演習  <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 301教室  <b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)  <b>【コアカリキュラム】</b> A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	*多田 充裕 大沢 聖子
2020/08/24 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験2・解説 講義	<b>【授業の一般目標】</b>  <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  <b>【学修方略 (LS)】</b> その他  <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 301教室	*多田 充裕 大沢 聖子